

【港北区】令和 8 年第 2 回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和 8 年 6 月 11 日 午前 11 時 00 分 ～ 午前 11 時 50 分
場 所	港北区役所 4 階 1 号・2 号会議室
出席者	【座 長】佐藤祐文議員 【議員 : 6 名】福地茂議員、大山しょうじ議員、白井正子議員、 かざまあさみ議員、望月康弘議員、大野トモイ議員 【港北区 : 21 名】古石正史区長、酒井啓彦副区長、 青木匡史福祉保健センター長、 姫浦尊福祉保健センター担当部長、 澤木勉港北土木事務所長 ほか関係職員
議 題	1 令和 8 年度個性ある区づくり推進費の執行状況について
発言の 要 旨	望月議員 : 道路・交通政策局の「みんなのおでかけ交通事業」の他に、港北区内では民間事業者の取組が進められているが、日吉・綱島地区で実施されていた AI オンデマンドバスについて、現状と今後の見通しを伺いたい。 萩原区政推進課長 : 日吉・綱島地区の AI オンデマンドバスについては、昨年 8 月に実証運行が終了し、現時点では運行していない。詳細は改めて確認し、情報提供したい。 望月議員 : 「菊名おでかけバス」が局の地域交通事業に組み込まれたことに加え、新吉田地区、日吉地区、大曽根地区においても検討が進められていると聞いているが、その状況について伺いたい。 萩原区政推進課長 : 大曽根地区が最も進んでおり、今年度中の運行開始を目指している。日

吉地区では、5月末まで実施したアンケート結果を基に地域交通の検討を進めていく。新吉田地区については、地域の意向確認に向けて局と連携して取り組んでいる。

福地議員：

港北区全体の予算について、人口規模に比して再配当予算の割合が低く、特に身近なまちづくりや区民利用施設に係る予算が少ないことに不公平感がある。区の人口規模を踏まえ、予算配分の考え方について伺いたい。

丸山総務課長：

個性ある区づくり推進費については一定程度、人口が考慮されているが、再配当予算については局が執行する事業を含む全体調整の中で現在の配分となっているものと考えられる。ご意見を踏まえ、関係部署とも共有しながら議論を進めていきたい。

古石区長：

区の立場から見ると、ご指摘のと通りの面があると感じている。今後、局と意見交換を行いながら、予算配分の考え方や課題を共有したい。

福地議員：

区役所の窓口や駐車場のスペースなども、人口規模に比して少ないのではないか。将来的な区役所の建替えや機能配置の検討も必要と考える。港北区民の目線に立ち、課題意識を持って取り組んでいただきたい。

かざま議員：

自転車の安全対策について、若年層を中心とした啓発を行うとのことだが、例えば子育て世代における子どもの同乗ルールなども十分浸透していないと感じる。自転車の青切符制度（交通反則通告制度。以下同じ。）の開始に伴い、これまで自転車を利用してきた方々への周知強化も必要と考えるが、取組について伺いたい。

曾我地域振興課長：

自転車の青切符制度については、制度開始に伴う周知のため、チラシ等

の内容が多岐にわたり、具体的な点が伝わりづらい面があると考えている。子どもの同乗ルールをはじめ、区民に周知すべき内容を精査しながら、ルールやマナーの向上に向けた啓発に取り組んでいきたい。

かざま議員：

子どもの同乗ルールについては、小学校入学前の時期に SNS で発信するなど、効果的な周知の工夫をしていただきたい。

次に、放置自転車対策について、日吉駅や綱島駅に加え、妙蓮寺駅周辺でも駐輪場不足の声が寄せられている。駐輪場の確保に向けた取組の進捗について伺いたい。

牧野港北土木事務所副所長：

駐輪場の確保に向けた取組について、新横浜駅で 6 月に篠原口側の駐輪場を整備しオープンした。その他の駅については、局と連携しながら検討を進めている。妙蓮寺駅周辺については状況を確認していきたい。

かざま議員：

児童虐待防止について、子育てに関する研修やイベント等の啓発活動に参加しにくい孤立した家庭に対し、情報や支援を届けることが重要と考えるが、対応について伺いたい。

大槻こども家庭支援課長：

啓発事業に参加しにくい家庭に対しては、日頃の関わりの中で、講座をご案内するなどの働きかけを行っている。引き続き、より目に留まりやすく、参加しやすい広報の工夫などに取り組んでいきたい。

かざま議員：

虐待が疑われる場合でも、通報を躊躇したり、通報方法が分からない方もいると考える。地域や町内会による見守りが早期発見につながることから、通報方法の周知も含め、引き続き取組を推進していただきたい。

白井議員：

日吉本町駅駐輪場の利用料金が上がり、長時間利用する場合の負担が大

きくなっている。この料金改定の背景について伺いたい。

澤木港北土木事務所長：

民設の駐輪場と考えられ、詳細については現地を確認のうえ報告したい。

白井議員：

当該駐輪場は利用者も多く、混雑している状況が見受けられる。値上げの要因が混雑によるものなのかも含め、料金改定の背景を伺いたい。利用者への丁寧な周知も必要と考える。

大山議員：

中学生向け防災啓発リーフレットについては、地域防災の担い手を育成する取組として、しっかりと進めていただきたい。作成した資料については共有してほしい。中学校へ配付することだが、本事業の成果について、アウトプット及びアウトカムの観点で伺いたい。

丸山総務課長：

リーフレットについては 10 月頃の完成を予定しており、完成後に共有したい。防災意識の向上に加え、中学生が地域の担い手となる意識を育むことを目的としており、学校と連携し、授業の中で取り組んでいく。アウトカムとして、啓発を受けた子どもたちが地域防災拠点で活躍していくような好事例が生まれれば、良い効果があったものと考えている。

大山議員：

単に配付するだけでなく、事業の目的や方向性を学校と共有し、実際の活用につながるよう連携して取り組んでほしい。

丸山総務課長：

学校から授業での取組に関する相談も寄せられている。引き続き学校のニーズを踏まえ、連携して進めたい。

大山議員：

最近、空き家やいわゆるごみ屋敷に関する相談を受けることがあるが、区が把握している現状について伺いたい。

萩原区政推進課長：

空き家については、週に数件程度の相談が寄せられている。所有者を特定し、連絡するなどの対応を行っているが、対応が難しい案件もある。

郷原福祉保健課長：

ごみ屋敷については、継続的に対応している事例があるほか、ごみ屋敷の認定には至らないものの、継続的な見守りや支援を行っているケースもあり、状況に応じて必要な支援を実施していきたい。

大野議員：

区民向けの児童虐待防止啓発について、インターネット等では体罰を容認する考え方も見受けられる。横浜市では体罰に関するアンケートなども実施されているが、啓発事業の成果について、数値等で把握しているのか伺いたい。

大槻こども家庭支援課長：

児童虐待が疑われる場合に通報しやすい環境を整えることを事業の目的の一つと考えている。現時点では啓発の成果を数値で示すことは難しいが、児童虐待の通報件数が増加していることについては、通報しやすい環境づくりによるものと捉えることもできると考えている。

大野議員：

法令上も体罰は許されない。そうした規範意識の浸透も啓発として重要と考えるので、引き続き取組を進めていただきたい。

佐藤議員：

区役所4階にはWi-Fi環境がなく、2階窓口においても接続しづらいとの声がある。デジタル化の推進について、環境面の整備にも取り組んでいただきたい。

備 考	
-----	--